

山形新聞 2012年9月5日に掲載!

取材雑記

◆幕末の志士清河八郎の旅日記「西遊草」の県内ルートを探る東京のNPO法人「元気・ま

◆踏査ルートの所々に

ちネット」の踏査に同行した。八郎が母の亀代を連れて半年間、全国を旅行した際の日記で、今回の踏査では

八郎の生家

同町田谷、鶴岡市中心部、湯田川、小国などを経て新潟県境までをたどった。

◆田谷、鶴岡市街では八郎や生家斎藤家と縁が深かった人たちの人物像にも迫った。八郎が「山々連なり谷々巡り、どこでも谷川の音が聞こえ大そ

う深山らしい趣があった(東洋文庫「西遊草」)と書いた同市温海川、小国、小名部などは小国街道の道筋を探りながら集落や峠を歩いた。

◆踏査ルートの所々に街道や宿場の面影が残っていることを確認。歴史や自然を生かしたまちづくりに取り組んでいる地域の

域もあり、意

心にも響く親切心

気込みが伝わってきた。取材で前触れもなく訪ねると、わざわざ一緒に出掛けて分かっていく昔の道を教えてくれたり、外出中なのに自宅まで待たせてもらい話を聞いたこともあった。出会った人たちの古里を大切に思う心と親切な対応が胸に響いた。

(哲)